

〔ポリエ〕…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

梅雨空の上からヤッホー ドローンで空の散歩気分

最近、ドローンで空撮しているのを見かけることがあります。そこで、その動画を見せていただきました。秋吉台には、ドリーネが一万個以上あるそうですが、遊歩道を歩いたり、高い山に登っても、そんなにあるとは思いませんでした。しかし、こうやって空の上から見ると「なるほど、あるかもしれない」と思いました。行ったことのない、行けそうにないところも分かります。この様子をどうにかして、皆さんにもお見せできたらと考えています。



ネジバナ(もじざり) 万葉の花「小町蘭」でブームになったことも

ネジバナは「もじざり」という名前で万葉集にもよまれています。小さな花がらせん状になって咲きます。右巻き、左巻き、縦一列と花の付き方もいろいろです。まれに白花も見られます。数十年前、「小町蘭」といって一大ブームがありました。主に、縞、覆輪などといった葉芸でしたが、数多くのもが見出されました。しかしブームは、他のランのように長くは続きませんでした。理由として、鉢で育てると枯死しやすく、葉芸などが継続せず、管理するのが困難だったからだと考えられます。



「モリアオガエルの観察と卵のレスキュー」(6月10日) モリアオガエルの里親になろう!

エコ池の周りの木の枝には、モリアオガエルの卵塊がいくつかありました。今年はいくつものオタマジャクシが生まれることでしょう。三角田川にも産卵していましたが、この川は「涸れ川」といわれ、雨の日以外は水が流れていません。ですから、ここで生まれたオタマジャクシは、川底に落ちて干からびてしまいか、雨と一緒に流されてしまいます。この卵を救って、エコ池に移したり、持ち帰ってオタマジャクシに育てます。



「秋吉台のカタツムリ」(6月24日) 石灰岩だいすきベニゴマオカタニシ

カタツムリの説明の後、まず近くの三島社の裏山に移動しました。ベニゴマオカタニシを発見しましたが、大人の指ではなかなかつまめません。次は長者ヶ森へ行きました。落ち葉の下をめくったり、木の枝を見上げたりして探したところ、大きなツクシマイマイやナミギセルなどを見つけることができました。みんなでパレットに並べて種類ごとに分けました。今回は、14種類のカタツムリを観察することができました。



三角田川下流の河床が陥没(6月8日)

新しいポノールが出現??

景清洞を流れ出た三角田川の下流には、犬ヶ森ポノールという縦穴があります。その近くに穴が開いているとの情報がありました。川岸からのぞいて見ると、ぽっかりと穴が開いていました。その2日後、前夜の雨でえぐられて、直径2mほどに広がりました。6月21日には、川幅いっぱいになって、川の水は滝のようにその穴へ流れ込んでいました。犬ヶ森ポノールとどこかで繋がっていると考えられますが、調査結果を待たなければならないでしょう。



7月の行事

7月 1日(日)「森の昆虫教室 1 (カブトムシ)」

7月16日(月)「森の昆虫教室 2 (クワガタムシ)」